

植えて悪いけしについて

けしには「植えて良いけし」と法律で栽培が禁止されている「植えて悪いけし」があります。これらは、外観の特徴から区別できます。



植えて悪いけしの特徴

- ・ 一重咲や八重咲があります
- ・ 花の色は、赤・紫・ピンク・白などがあります。
- ・ 葉や茎は、キャベツの葉の様な白味を帯びた(ろうがかった)緑色をしています。
- ・ 葉は、互い違いに茎につき、茎のつけ根で茎に巻き込むような形でついています。
- ・ 葉、茎やつぼみの表面には、ほとんど毛がありません。

*この他、セティゲルム種、ハカマオニゲシがありますが、道内では、ソムニフェルム種が多く見られます。この2つの特徴は、厚生労働省作成のパンフレットをご覧ください。

植えて良いけしの特徴

(アイスランドポピー・ヒナゲシの場合)

- ・ 葉は緑色。深い切り込みがあります。アイスランドポピーの葉は、菊の葉に似ています。
葉や茎の表面には、毛がついています。

(オニゲシの場合)

- ・ 葉は濃緑色。鳥の羽のような形に深く切れ込んでいます。
- ・ 葉や茎全体が白く堅い毛で覆われています。
- ・ 花が終わり、植物が枯れた後も根が残り、翌年も同じところから芽を出します。



アイスランドポピー

けしの仲間(ケシ属植物)は、ガーデニングや切り花用の植物として人気があり、植えてはいけないケシを栽培している場合でも、知らずに行っていることがほとんどです。

栽培しているけしが、植えてはいけないけしだった場合、除去は土地所有者(使用者)にお願いしておりますが、ご不明な点がある場合は、北海道千歳保健所企画総務課地域医療薬務係(TEL:0123-23-3175)までご連絡ください。